

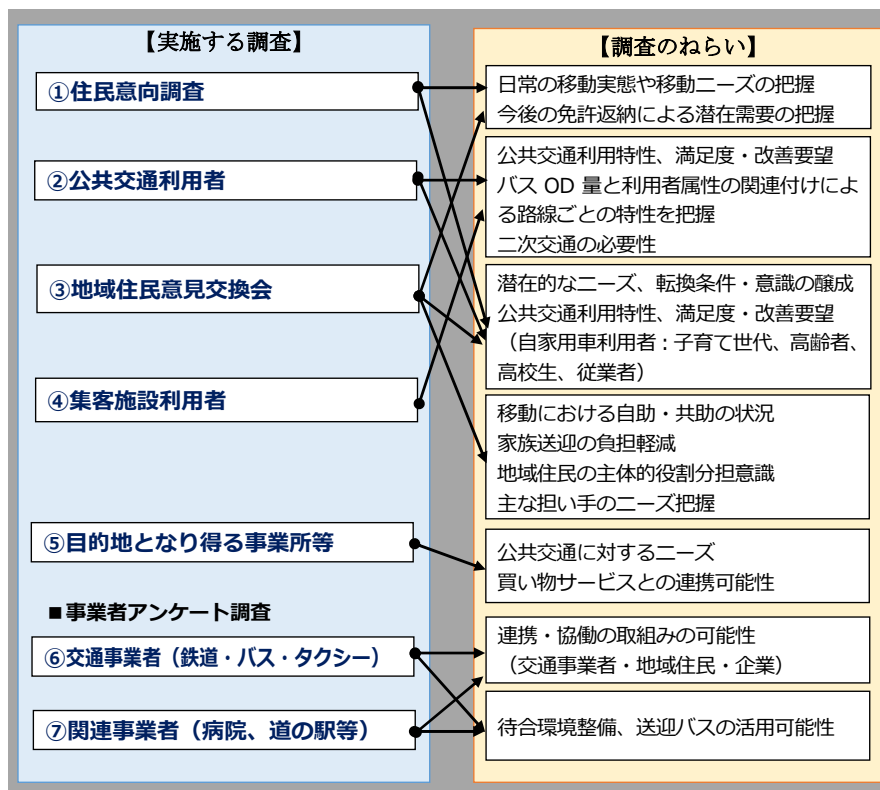
香南市地域公共交通計画について

各種調査の結果と取り組むべき方向性

R3.10.26 第 2 回香南市地域公共交通会議

0. 調査概要

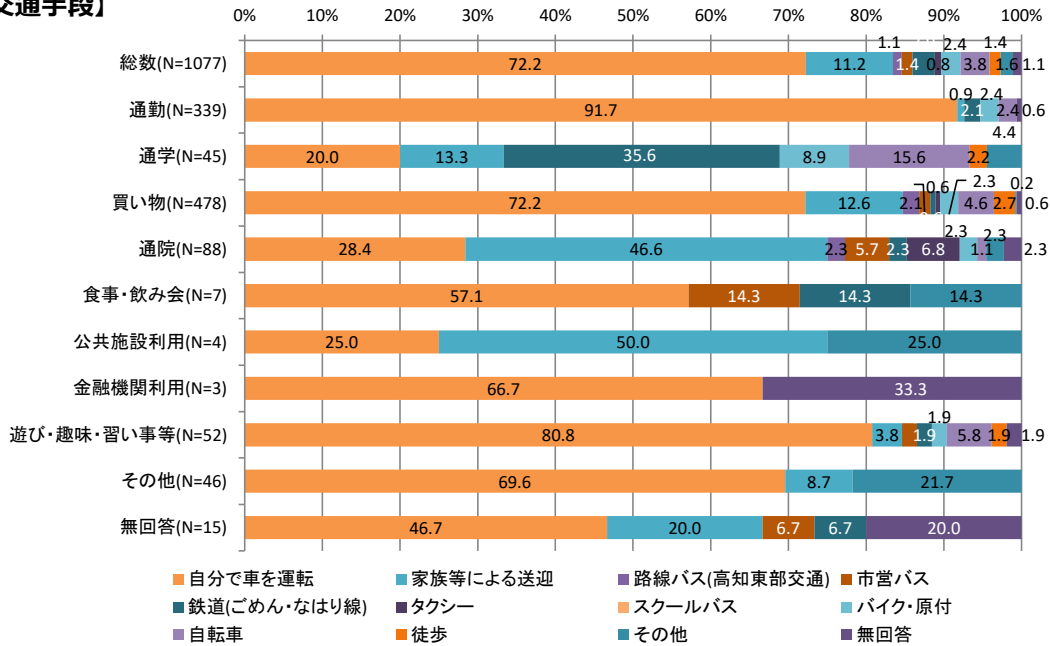
以下①～⑦の調査を実施しました。



1. 市民意識調査

配布数	配布・回収方法	回収数	実施時期
3,000人 (高齢者の配布割合を高く設定、 15歳以上の男女 無作為抽出)	郵送による配布、回収	1,077人 回収率35.9%※8月末時点	令和3年8月6日～8月27日

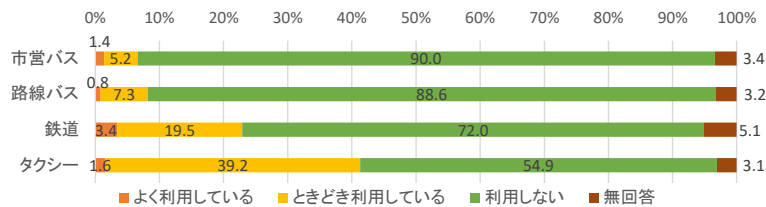
【目的別交通手段】



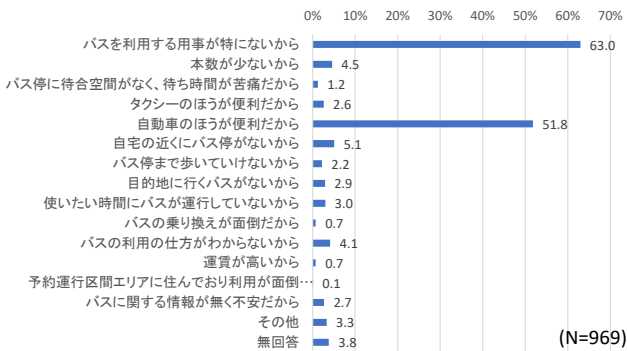
○多くの市民が自動車で移動しており、公共交通の利用は6.2%となっている。
○通院や公共施設の利用で家族による送迎に頼っている傾向がある。

1. 市民意識調査

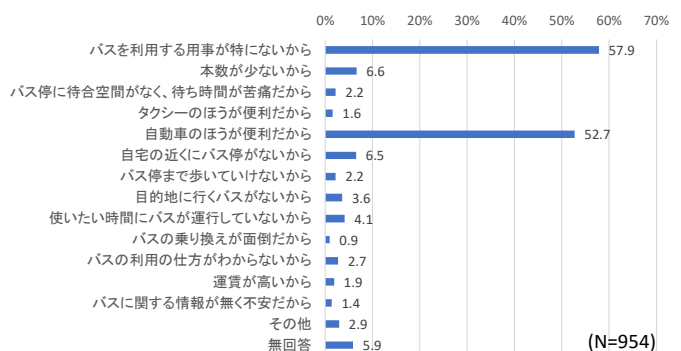
【公共交通の利用率】



【市営バスを利用しない理由】



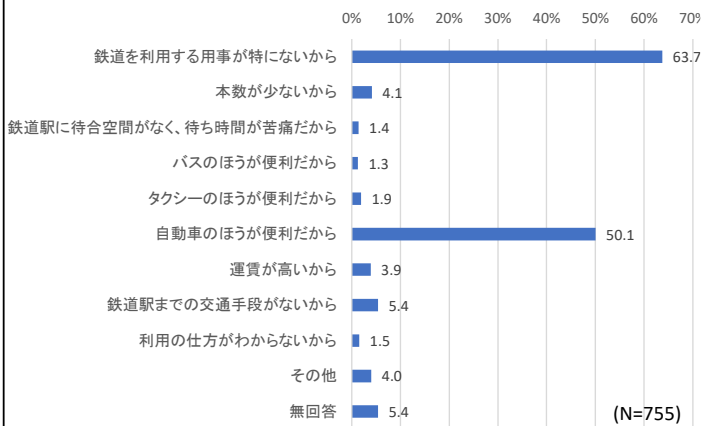
【路線バスを利用しない理由】



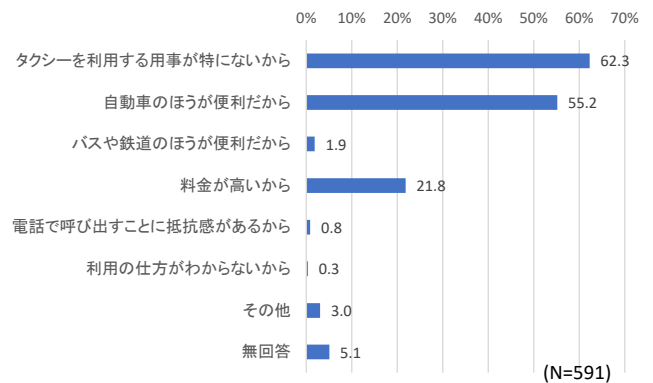
○ほとんどの市民は市営バス・路線バスを利用したことがない。
○市営バスを利用している割合は6.6%、路線バスは8.1%と1割を切る。
○バスを利用しない理由は車の利用が便利であり、バスを利用する用事が無い。
○また市営バスは、本数の少なさ、バスの利用の仕方が分からない、自宅の近くにバス停がない等の意見も多い。
○路線バスは、本数の少なさ、自宅の近くにバス停がない、使いたい時間にバスが運行していない等の意見も多い。

1. 市民意識調査

【鉄道を利用しない理由】



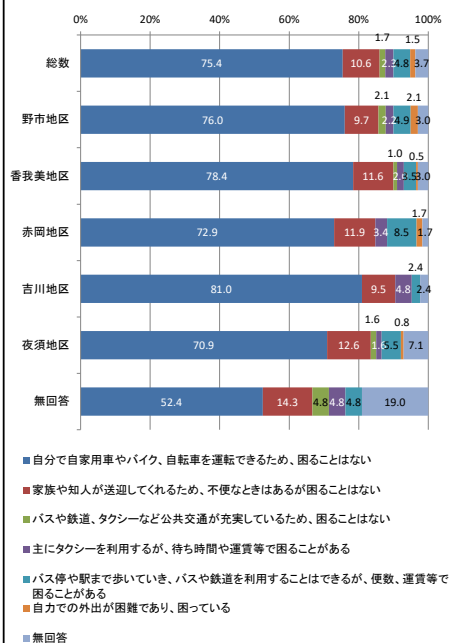
【タクシーを利用しない理由】



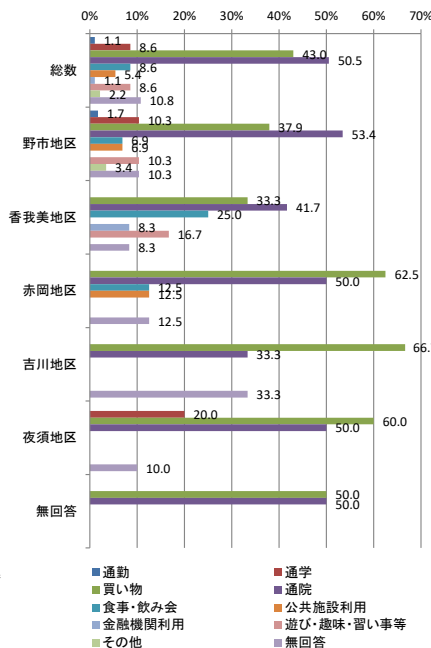
○鉄道やタクシーを利用しない理由も車の利用が便利であり、バスを利用する用事が無い。
 ○また鉄道は、鉄道駅までの交通手段がないこと、本数の少なさ、運賃の高さ等の意見も多い。
 ○タクシーは、料金の高さについての意見も多い。

1. 市民意識調査

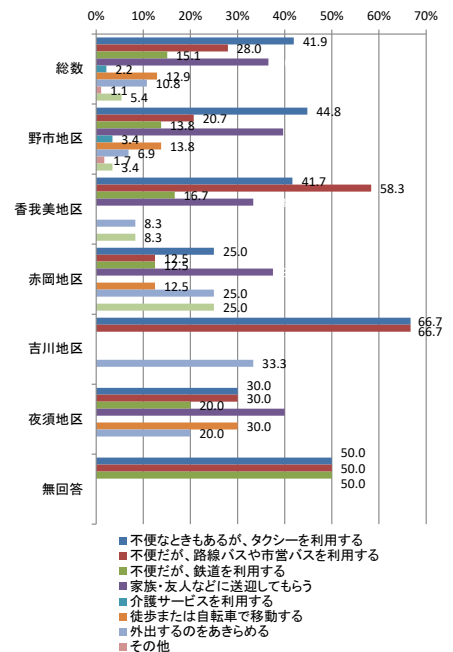
【外出に関する困りごと】



【外出で困る目的】



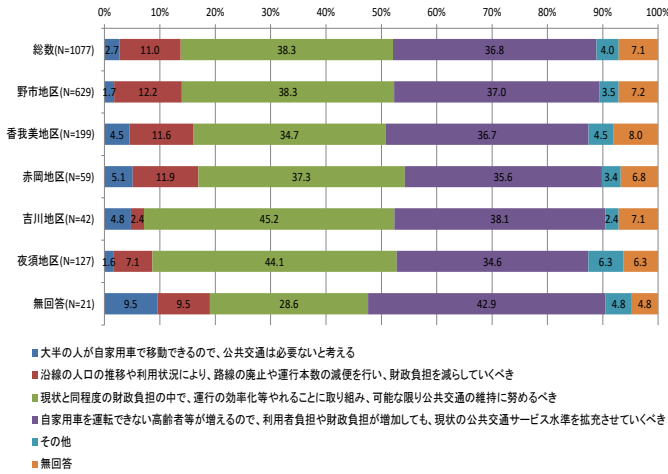
【外出で困る時の対応】



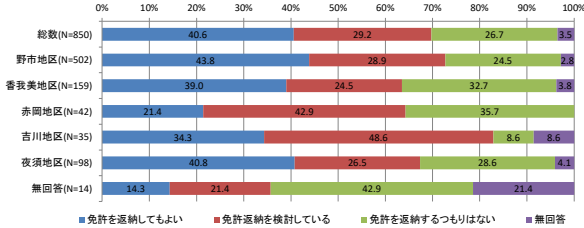
○外出で困ることがある人は、全体の8.6%となっている。
 ○買い物や通院目的の割合が高く、香我美地区では食事・飲み会と回答される方もいる。
 ○外出で困る時の対応として、公共交通を利用する方が半数以上を占め、また、家族・友人などの送迎をしている方も多い。
 ○赤岡地区、吉川地区、夜須地区では外出をあきらめる方が2割以上いる。

1. 市民意識調査

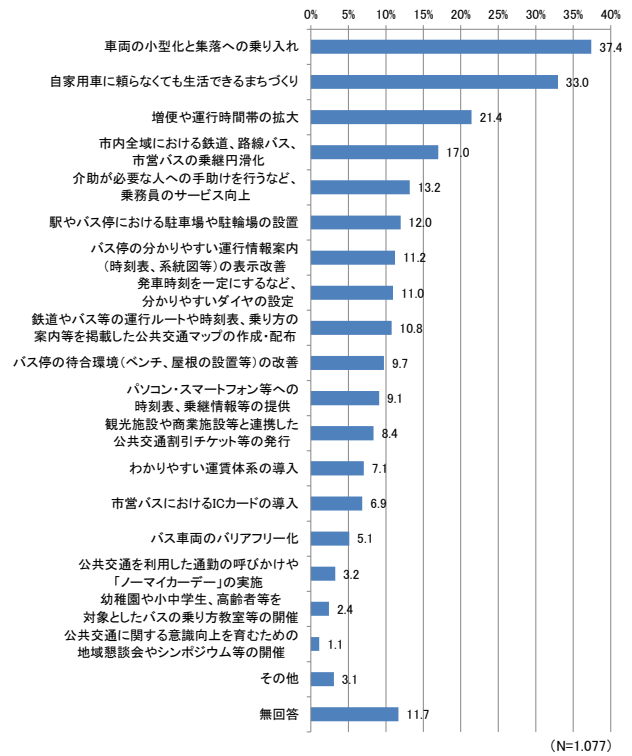
【香南市公共交通の方向性】



【免許返納意向】



【効果的な利用促進】

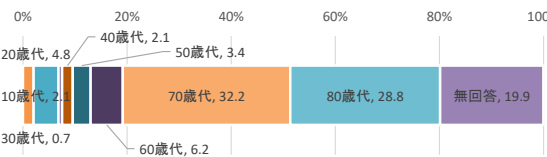


- 可能な限り公共交通の維持に努めるべきと考える市民が多く、財政負担を増やしても交通サービス充実させるべきとの意見も多い。
- 免許返納意向が全体の7割を占めることから、公共交通利用の潜在ニーズがみられる。
- 車両の小型化や集落への乗り入れ、自家用車に頼らなくても生活できるまちづくりの希望が多い。

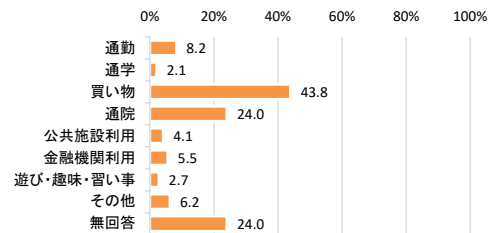
2. 公共交通利用者調査 (市営バス)

配布数	配布・回収方法	回収数	実施時期
192人 (スクール利用46人)	調査員乗降による配布、回収	192人	令和3年9月15日

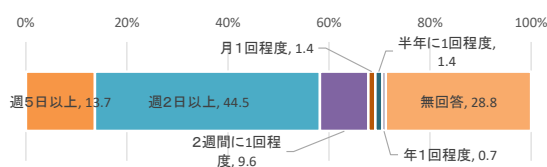
【利用者の年齢層】



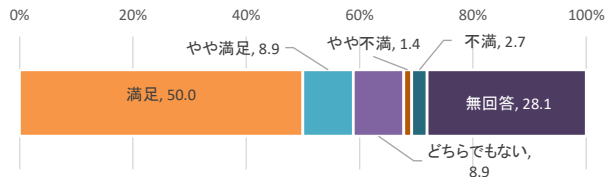
【市営バスを利用する目的】



【利用している方の頻度】



【市営バスを利用している方の満足度】



<充実して欲しいサービス・要望 (抜粋) >

- ✓ 運行本数
- ✓ 運行時間帯
- ✓ 鉄道との乗り継ぎ

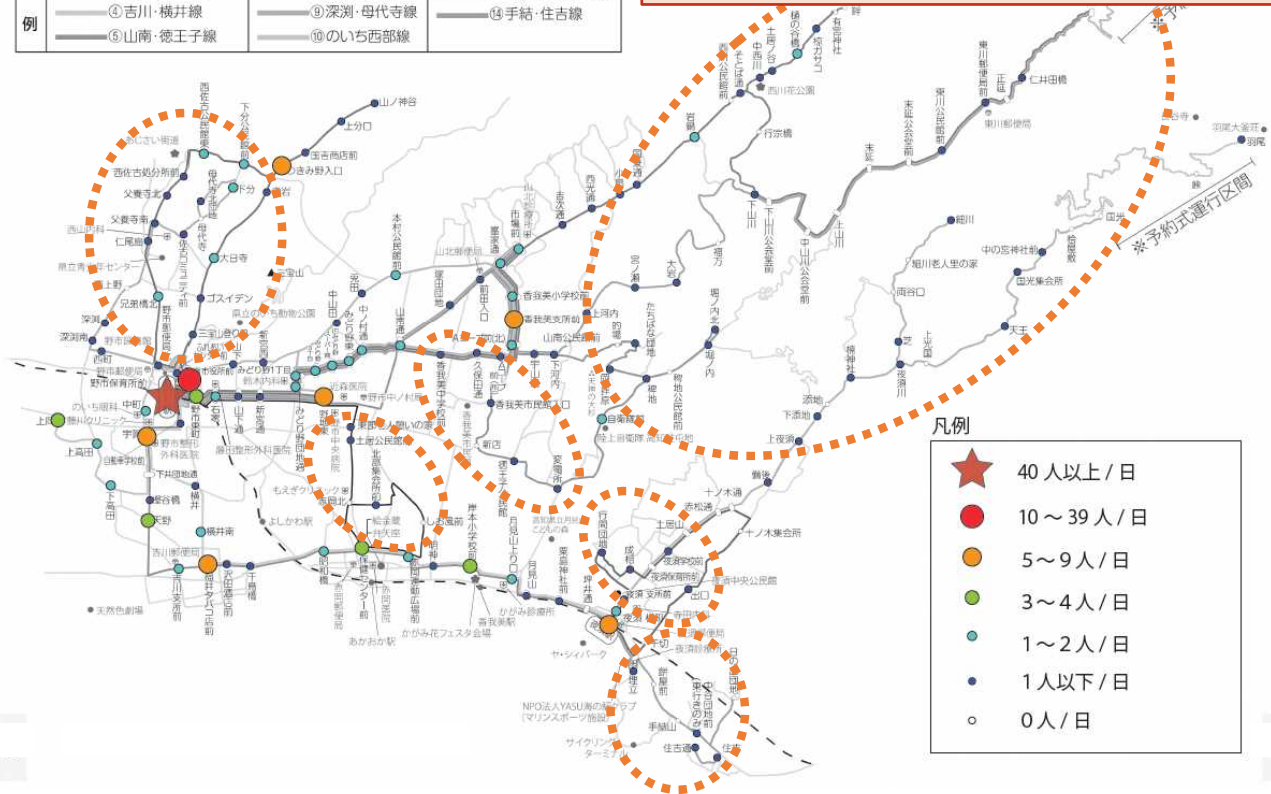
- 70歳代以上の利用が多く、半数以上を占める。
- 利用者の半数以上が買物や通院を目的にバスを利用している。
- 利用者の半数以上の方が、市営バスに満足している。一方で運行本数や時間帯、鉄道との乗り継ぎへの不満がある。

市民バス利用実態

香南市営バス運行路線図 [令和2年10月1日より]

凡例	①のいち東部循環線	⑥西川線	⑪のいち・香我美線
	②のいち北部循環線	⑦東川線	⑫羽尾・細川線
	③吉川・下井線	⑧土居・赤岡線	⑬千切・行間循環線
	④吉川・横井線	⑨深淵・母代寺線	⑭手結・住古線
例	⑤山南・徳王子線	⑩のいち西部線	

予約式運行区間以外でも利用者は1人以下/日が多い。ただしスクールバス（混乗便）で毎日児童生徒がいる。



2. 公共交通利用者調査（路線バス）

配布数	配布・回収方法	回収数	実施時期
15人	調査員乗降による配布、回収	15人	令和3年9月15日

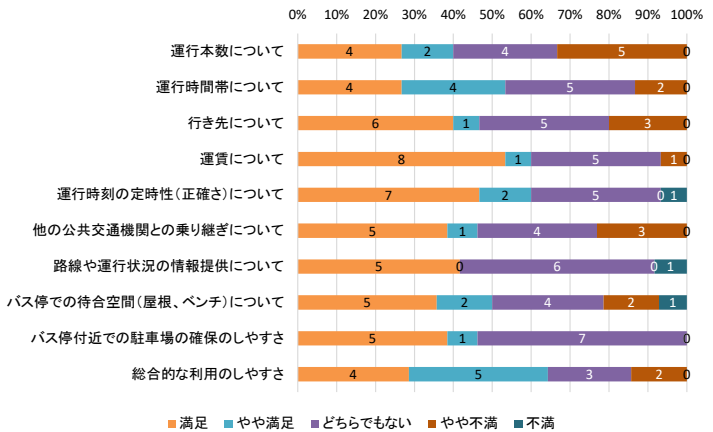
【年齢層】

年齢層	回答数
18歳以下	1
19～39歳	2
40～59歳	4
60～64歳	0
65～69歳	0
70～74歳	4
75歳以上	4

【利用している方の頻度】

利用頻度	回答数
週に5日以上	2
週に3～4日	1
週に1～2日	3
月に2～3日	4
月に1日	3
年に数回	1
無回答	1

【路線バスを利用している方の満足度】



【路線バスを利用する目的】

乗車バス停	降車バス停	回答者数	主な目的
野市龍河洞通	後免西町	2	通院、遊び・趣味・習い事
	後免町	2	買い物
	はりまや橋	1	遊び・趣味・習い事
JA高知病院	知寄町	1	通勤
	野市龍河洞通	1	通院
野市東町、大橋通	野市龍河洞通	2	通勤、通学
	はりまや橋	1	通院、遊び・趣味・習い事
夜須駅	南赤岡町	1	買い物
はりまや橋	夜須駅	1	通院
高須小学校通	夜須駅	1	その他(墓参り)

【バス停までの交通手段】

乗車バス停	バス停までの交通手段	回答者数
野市龍河洞通	市営バス	1
	自転車	5
野市東町	市営バス	1
夜須駅	自転車	2

<充実してほしいサービス・要望(抜粋)>

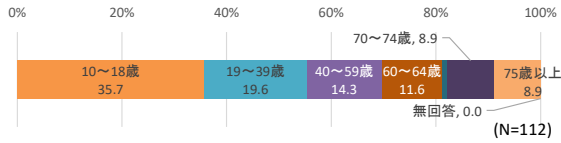
- ✓ 運行本数の増便、運行時間帯の拡大
- ✓ 行き先(医大方面、土佐山田方面)
- ✓ 屋根のないバス停が多い

- 70歳以上の方の利用が多く、40～59歳代の利用も多くみられる。
- 通院、通勤、買い物などを理由に市外からの移動が大半を占める。
- バス停までの交通手段では自転車が多く、一部市営バスでの乗り継ぎもいる。
- 運行本数や行き先、他の公共交通機関との乗り継ぎ、バス停での待合空間についての満足度が低い。

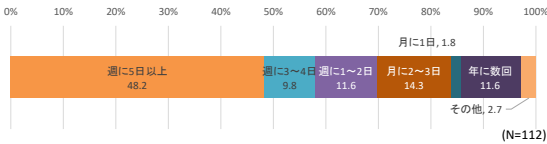
2. 公共交通利用者調査（鉄道）

配布数	配布・回収方法	回収数	実施時期
112人	鉄道利用者に対し配布、回収	112人	令和3年9月15日

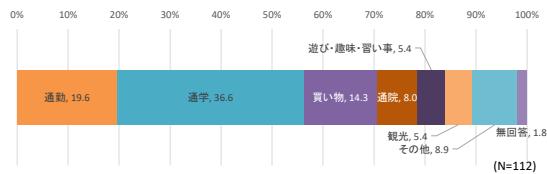
【利用者の年齢層】



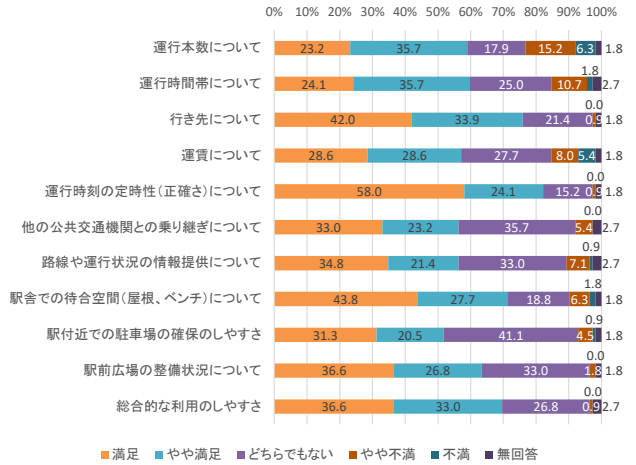
【利用している方の頻度】



【鉄道を利用する目的】



【鉄道を利用している方の満足度】



<充実してほしいサービス・要望(抜粋)>

- ✓ 運行状況の確認に不便さを感じる。
- ✓ 駐車場の数を増やしてほしい。(のいち駅利用者)
- ✓ バスと鉄道の乗り継ぎ。等

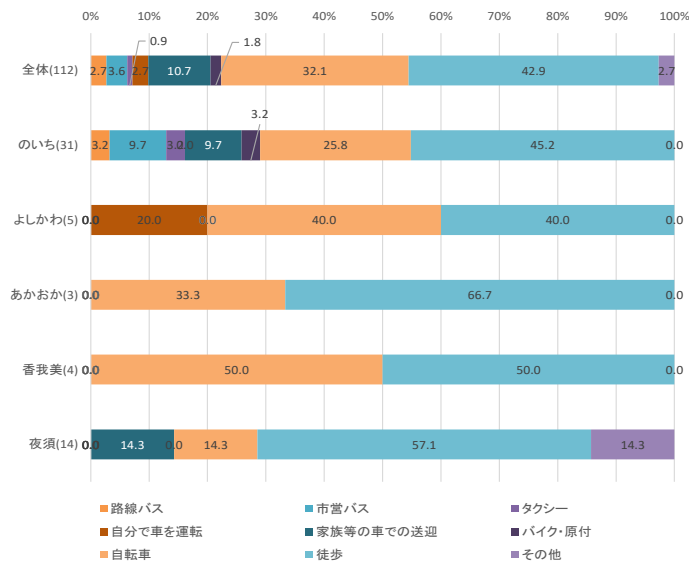
- 児童生徒の利用が最も多く35.7%となっている。
- 週に3日以上利用されている方が全体の半数以上を占める。通勤通学の目的も全体の半数以上を占める。
- 運行時間の正確さや行き先、駅舎での待合空間について満足されている人が多い一方で、運行本数、運行時間帯、運賃について、不満がある人もいる。

10

2. 公共交通利用者調査（鉄道）

配布数	配布・回収方法	回収数	実施時期
112人	鉄道利用者に対し配布、回収	112人	令和3年9月15日

【鉄道駅までの交通手段】



- 徒歩や自転車で駅まで行く方が多く、一部家族等の車での送迎がいる。
- 路線バスや市営バス、タクシーを利用してのいち駅まで移動する人もいる。

11

3. 地域住民意見交換会

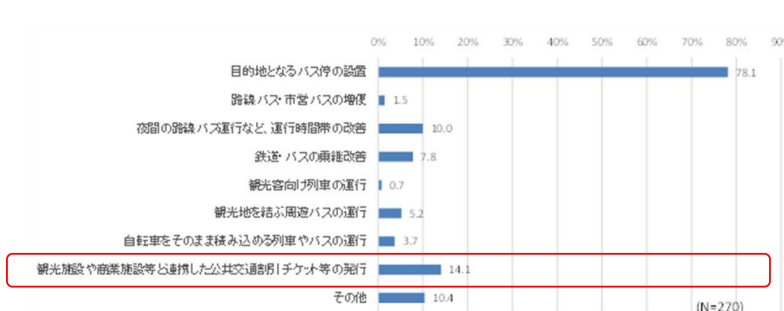
地区	困っている状況	意見（抜粋）
徳王子 (N=6)	・家族送迎や自分の運転で困らない人がほとんど ▲雨天時タクシーで困ることがある	・地区にバスや乗り合いタクシーが運行すれば利用する意向がある。
白岩団地 (N=11)	・家族送迎や自分の運転で困らない人がほとんど	・運転やめたら 市営バスかタクシーを利用する 。 ・バス車両は乗る人が少ないのであれば 小型でよい 。 ・ 団地までバスを運行 してほしい。
つきみ野団地 (N=19)	・家族送迎や自分の運転で困らない人がほとんど ・ タクシーを利用しており、困ることはないが運賃は気になる ▲自力で外出が困難	・待合空間では、雨の日は屋根がなく、椅子も古くバス待ちも不便に感じる。 ・ バス停まで行くことやバスに乗ることが難しい 。 ・市営バスは運賃が安い。長く運行してほしいので運賃を上げてほしい。 ・バスを利用して帰りの荷物が大変。 ・よくバスに乗り遅れてしまうので、その際は タクシーを利用する 。
山北・西川 (N=7)	・家族送迎や自分の運転で困らない人がほとんど	・ バスが通るところまでが遠い 。 ・便数が少ない
西山 (N=8)	・家族送迎や自分の運転で困らない人がほとんど	・公共交通を利用できる場所ではないので不安。
日の出団地 (N=5)	▲タクシー運賃で困る。 ▲バス停が遠いので困る。	・バス停まで遠いので 団地内までバスを運行するべき 。 ・バスの乗継が悪いので工夫するべき。
岸本 (N=13)	・家族送迎や自分の運転で困らない人がほとんど	・香我美駅はエレベーターがないので高齢者には利用が困難。 ・市営バスは最終便が赤岡止まりなので岸本までは運行してほしい。 ・安芸方面の市営バス、夜須駅の鉄道や路線バスの乗り継ぎが不便。
山地・遠山 (N=9)	・自分の運転で困らない人がほとんど	・車の運転に不安があるため、将来は利用する。 ・高知東部交通のバスを使っているが本数が少ないことが不便
東川 (N=7)	・家族送迎や自分の運転で困らない人がほとんど	・乗る人も少なくなっているのでバス車両でなく、タクシー車両でもいいのではないかと。 ・買い物等でのいちまで行ける公共交通機関は継続してほしい。 ・家族送迎が申し訳ないので野市への移住を検討しているが、東川に住み続けたい。

4. 集客施設利用者調査

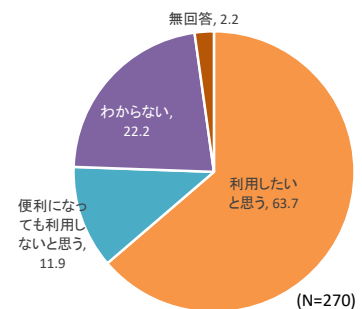
【結果概要】

施設	回収数	利用者属性	主な交通手段
香南市役所	48票	・70歳代(12),50歳代(9),60歳代(6)	・自家用車(45),バス(1)
フジグラン野市	88票	・60歳代(22),70歳代(17),40歳代(14)	・自家用車(72),バス(2)
Aコープかがみ	70票	・70歳代(19),60歳代(18),50歳代(14)	・自家用車(66),バス(0)
のいち動物公園	23票	・20歳代(6),30歳代(5),40歳代(4)	・自家用車(18),バス(1)
道の駅やす	41票	・60歳代(11),70歳代(9),80歳代(6)	・自家用車(35),バス(0)

【公共交通利用促進の施策】



【公共交通利用がより便利になったら利用するか】



○調査した集客施設では自家用車利用がほとんどであるが、公共交通が便利になれば利用したいとの意向は約6割を占め、潜在需要ニーズはある。
○そのためには、目的地となるバス停の設置や観光施設や商業施設等と連携した公共交通割引チケット等の発行の意見が多い。

5. 目的地となり得る事業所等調査

【結果概要】

配布数	配布・回収方法	回収数	実施時期
192人	メールまたは郵送による配布・回収	14事業所	令和3年9月3日～9月20日

医療機関	<p>【公共交通に関するニーズや要望※患者さんからの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス停や待合の場所がわからない。 ○患者さんからバスの時刻表のことを聞かれることがある。 ○近くにバス停（公共の）があれば便利。 <p>【公共交通に関する要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運行経路等の説明が必要な時に、複雑で難しい。
観光施設 商業施設	<p>【公共交通に関するニーズや要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鉄道・バスどちらであってもものいち駅付近からのいち動物公園までの間に公共交通がない。 <p>【公共交通機関と連携した集客対策についての考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○バス停がショッピングセンター内に設置できればお客様の利便性が上がる。 ○のいち動物公園について、ごめん・なはり線を利用しての来場者には、入園割引券の配布サービスを行っている。のいち駅からの公共交通機関がないので、利用者が少ない。
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ○最寄りの駅や空港と宿泊施設の間を、利用者の到着時刻等に応じて運行サービスを行う事業者もいる。 ○観光施設巡回バスの設定について、連携の検討の余地はある。

14

6. 交通事業者アンケート調査

バス・ 鉄道事 業者	<p>【他の交通事業者との連携について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光面での誘客を伸ばすとともに、コストをかけない二次交通の充実・工夫が必要。 （例）観光施設や宿泊施設間共有の無料送迎の仕組み、過疎地有償運送の展開、市町村コミュニティバス間の連携など、公共交通や後継者不足が指摘されるタクシーなど既存の仕組みに過度に頼るのではなく、代替手段、田舎版マースの検討等 <p>【利用促進・経営改善に向けた取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安価な交通費（LCC、割安四国鉄道周遊切符など）提供による、関東方面の旅行需要の取り込み ○割安切符による県東部・西部間の人流促進 ○バスロケーションサービスの利便性の向上 <p>【市の施策・計画への期待】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○香美市との連携（市役所間や観光施設間を繋ぐコミュニティバスなど） ○香南市コミュニティバスとの乗り換えの利便性を高める為、のいち駅バス乗り場にモニターを設置し、バスロケーションサービスとデジタルサイネージによるリアルタイム時刻表を提供等
タク シー事 業者	<p>【利用者層】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の一人利用が多い。 <p>【乗合事業・デマンド型乗合タクシー事業等の将来的な参入について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参加意向あり。 ○山間部に住む市民にとっては、交通で困っている意見を聞く。 ○ドアtoドアの小回りの利くタクシーが役立つことがあれば、連携できる可能性がある。 <p>【市の施策・計画への要望・期待】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○香南市の山間部の高齢者の方々を始めとしたタクシー需要の喚起。 ○のいち駅に乗降されるお客様のから、駅前にすぐ乗れるタクシー乗り場がないので、不便だとの声を聞く。 ○のいち駅売店から時折タクシー要望の電話を受けることから、駅前にタクシー乗り場の設置。

15

7. 関連事業者アンケート調査

【観光協会・道の駅やす・子育て支援団体意見概要】

	送迎サービスの必要性	公共交通に関する意見・アイデア等
観光事業者 (観光協会・道の駅)	<ul style="list-style-type: none"> ○ごめん・なはり線による観光ニーズがある一方で二次交通が課題。 ○観光客向け周遊バスのサービス。 ※道の駅ヤ・シバークから周遊観光したいとの要望あり ○空港までのアクセスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用者が出発時間まで長時間待合にいることがある。 ○県外客から、空港への直接での交通手段がないかと問い合わせ ○電子マネーの利用。 ○次世代移動サービスの実証実験 ○電子マネーの導入 ○季節やイベントに応じた増便 (西川花園・あじさい)
子育て支援団体	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て世帯には送迎サービスのニーズは少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、自家用車が利用できない状況の家庭があればタクシー等が利用できれば良い。

【障がい者福祉支援団体・高齢者デイサービス支援団体意見概要】

	利用者の要望	公共交通の課題等	公共交通に関する意見・アイデア等
障がい者福祉支援団体	<ul style="list-style-type: none"> ○ダイヤ数が少ない ○フリー乗車区間の使い方が難しい。 ○運転手によって、対応が違う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○シルバー人材センターの外出支援やタクシー会社との連携が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○障害者や高齢者に対する知識、必要な支援について考える機会があると良い。
高齢者デイサービス支援団体	<ul style="list-style-type: none"> ○タクシーを利用する方が主であるが、運賃が高いとの声がある。 ○駅やバス停までの距離が遠く利用できないので、支援して欲しい。 ○便数が少ない。 ○乗り過ごすとなりの便までかなりの時間を待たないといけない。 ○運転手の愛想を良くしてほしい。 ○足の悪い乗り口で時間を要することやシルバーカー等の乗入れに気を遣う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○要介護の方が公共交通を利用するのは難しいという意向あり。 ○タクシーは日常的に使うにあたってコストが高い。 ○便数の少なさや自宅からバス停までの遠さ等。自宅～バス停までの支援。 ○バスはADLの低下した要介護者にはハードルが高い。 ○乗り降りの際には軽介助可能など行うことのできる支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タクシー会社などと連携して送迎車両や、運転手の確保が出来ればより良い安全な送迎をする事が出来るのではないかと。 ○貨客混載事業への取り組み。 ○免許返納等で足のない高齢世帯等と病院や福祉サービスとの橋渡しを公共交通に期待する事が考えられる。 ○高齢者世帯の行動範囲が広く維持される事は、フレイルの予防に繋がると思われる。

16

6. 市民・事業者のニーズについて

調査から浮かび上がった市民のニーズや課題

- 自家用車への依存が高く、公共交通を利用する割合は低い。
- 自家用車の免許返納意向も一定あり潜在的なニーズがあると考えられ、利用につなげていく取り組みが必要。
- 公共交通の利用者からは運行本数や乗継に対する不満が多い。
- 市営バスは路線によっては乗車が無い又は非常に少ないバス停（地区）がある。
- 待合場所の環境整備などに対する不満や要望があり、高齢者や身体障害者が利用しやすい環境整備が求められている。
- 既存のサービス向上に加えて、可能な限り車両を小型化することやタクシー事業の活用等、ドアtoドアに近い形での公共交通サービスが求められている。
- 情報発信や利用促進が不足している。（周知、時刻表、運行情報、乗り方、利用状況、外国人対応、のいち駅を利用する学生への市営バス周知）
- 交通空白地区や傾斜のある団地の住民は公共交通の使いづらさを感じており、地区内への公共交通サービスを必要としている。
- 将来は公共交通を利用しなければならないと感じているが現在の公共交通サービスに対する不安の意見がある。

香南市の地域特性と公共交通の現状や、公共交通利用者等ニーズ結果などを踏まえ、公共交通の取り組むべき **方向性** を整理します。

17

7. 香南市地域公共交通の取り組むべき方向性

<生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成>

- 土佐くろしお鉄道(株)、高知東部交通(株)、市営バスのネットワーク機能の強化。
- 市営バスとタクシー事業者の連携、協働した取り組みの推進（タクシー事業の活用）
- わかりやすく利用しやすい市営バスの路線及びダイヤ等の設定。
- 交通空白地区や公共交通の利用が難しい集落への公共交通サービスの展開

<持続可能で利便性の高い交通環境づくり>

- 高齢者や身体障害者が利用しやすい環境整備
- 安心して公共交通を利用できる待合環境の整備
- のいち駅等交通結節点の強化による公共交通利便性の確保
- 他の公共交通や施設等と連携したIT社会を見据えたシステム導入検討

<自家用車利用からの公共交通利用への転換や利用促進>

- 公共交通に関する積極的な情報発信と利用促進
- 行政、交通事業者と高齢者の移動支援サービス事業者、商業施設、医療機関、観光施設等の相互連携、協働の取り組み推進。
- 将来の自家用車の運転に不安を抱えている高齢者や免許返納を考えている方が、安心して公共交通の利用に転換できるサービスの整備

○各調査の結果、現在の公共交通サービスに関する意見や要望に加え、将来は公共交通を利用しなければならないと感じながら、「将来の移動手段」に対する不安の意見も多くある。

○香南市に安心して住み続けることができる公共交通サービスの構築に向けて本気になって取り組んでいく必要がある。

■ 計画策定スケジュール(予定)

